



国民の代表者たる政治、つまり議院政治が最も正しく運営されるためには議會制度の基礎ともいふべき「選挙」が正しくして公明に行われ、その正しい選挙を通じて、真に国民を代表する人を輩出し民主政治の実を挙げなければならぬことは論をまたない処である。民主制な政治制度も選挙なくして存在しない。

然し政治はもろ論のこと現行選挙がそれ程重要、基本的なものであるのにと、對するく行われてはいるか、金のかかる選挙、買収供応や利権が横行する選挙がどんなに政治を腐敗、だぶらせているか、政治が行われ民意を盛ったこと始めて正しくして明き選挙が行われることなるのではあるが実際はいつの選挙においても選挙はかくあらねばならないの音が甚しくはれたながら選挙は少しも浄化されないう、却つてそのたびごとにほらまかれる金額は増大し、二当三落等の新語が生れるまでに一千万も二千万もの選挙運動費用が使用されているといわれるのは、どうしてかであるうか。

昨年十月執行された衆議院議員の総選挙をめぐって事前運動と目される行為が、かつてならぬない程激しく行われたため、こ

れら事前運動を撲めつし、かつとかく不明朗であった過去の選挙に對して、独立した最初の実をかせぎ民主政治の基礎とした、との見地から全国各地に大国民運動が湧きあがり、且つ発露したことは誠に喜ばしいことである。

本県においても、この運動に呼応して各關係団体の積極的な参加のもとに、「新潟県公明選挙運動推進連絡協議会」が設置され、各都市町村の協議会やその加盟団体の下部組織等と密接に連絡をとりそれぞれ立場で

例のようであつて、選挙宣伝のむづかしさが伺い知られる状である。それに較べて、あの終戦後の混乱した中に、国民の要望を背負って、誕生をみた公民館が、諸難条件下にその活動を制約されながら、国民道徳のこう場、社会の安定化に尽力された功績は、誠に大で、敬服に堪えない処である。

本運動も今後更に国民全体の運動として、普遍化する事である困難と長い年月を要する事であるが、真に必要に迫られて、推進されたものである、以下、必

## 公明選挙運動について

### 公民館に期待

笹川 加津 康

この運動の推進に努めたのである。しかしこの運動が実施されたにも拘らず各地に多数の違反事件がなつて何れた結果、この運動の成果に何等みるべきものがなかつたのではないかと印象を与へ、且つ、事実この運動が選挙運動に利用されて、真の運動目的が歪用された向もあつたのであるが、選挙民に与えた好影響は否めない事実である。然しながら、この運動は一時的総発露に終始し、後にはさびらなくなり、この運動は

中すまでもなく、この運動は他の選挙運動と趣を異にし、ははは政治運動に利用され勝ちである。然に、政争の激しい処では、激烈な選挙運動が行われるために公明選挙運動等は、行いえない実情であつて、時には青年団、婦人会の幹部等がその職中に含まれている事例もみうけられる。それであるから各協議会を中心として、特に政治性の少ない青年団、婦人会が公明選挙運動と相まって選挙を短

その意識にめざめ、一人一人が自己の意見によつて、審判する批評家となつて容易に他の誘惑や言伝に乗せられないようにならねばならない、明き理想の選挙が自由開進に行われるようになる。この時に、始めて国民性の中に根柢をめぐらされていく封鎖性も一掃されて、真の民主主義が達成され、ひいては社会の安定、政治の安定が期せられるのである。

何卒この運動目的の達成に協力あらんことを切望する次第である。

(新潟縣選挙管理委員長)

## 新潟県公民館連絡協議会

### 昭和二十八年年度予算表

歳入の部		歳出の部	
項目	本年度予算額	項目	本年度予算額
越前年度繰越金	一五、〇〇〇	一、事務費	四一、〇〇〇
特別繰越金	七〇、五〇〇	二、給料	三、〇〇〇
繰入金	二四四、三〇〇	三、旅費	一五、〇〇〇
雑収入	一〇〇	四、備品費	五、〇〇〇
雑入合計	三二九、九〇〇	五、通信費	五、〇〇〇
		六、印刷費	五、〇〇〇
		七、雑費	五、〇〇〇
		八、雑費	五、〇〇〇
		九、雑費	五、〇〇〇
		十、雑費	五、〇〇〇
		十一、雑費	五、〇〇〇
		十二、雑費	五、〇〇〇
		十三、雑費	五、〇〇〇
		十四、雑費	五、〇〇〇
		十五、雑費	五、〇〇〇
		十六、雑費	五、〇〇〇
		十七、雑費	五、〇〇〇
		十八、雑費	五、〇〇〇
		十九、雑費	五、〇〇〇
		二十、雑費	五、〇〇〇
		二十一、雑費	五、〇〇〇
		二十二、雑費	五、〇〇〇
		二十三、雑費	五、〇〇〇
		二十四、雑費	五、〇〇〇
		二十五、雑費	五、〇〇〇
		二十六、雑費	五、〇〇〇
		二十七、雑費	五、〇〇〇
		二十八、雑費	五、〇〇〇
		二十九、雑費	五、〇〇〇
		三十、雑費	五、〇〇〇
		三十一、雑費	五、〇〇〇
		三十二、雑費	五、〇〇〇
		三十三、雑費	五、〇〇〇
		三十四、雑費	五、〇〇〇
		三十五、雑費	五、〇〇〇
		三十六、雑費	五、〇〇〇
		三十七、雑費	五、〇〇〇
		三十八、雑費	五、〇〇〇
		三十九、雑費	五、〇〇〇
		四十、雑費	五、〇〇〇
		四十一、雑費	五、〇〇〇
		四十二、雑費	五、〇〇〇
		四十三、雑費	五、〇〇〇
		四十四、雑費	五、〇〇〇
		四十五、雑費	五、〇〇〇
		四十六、雑費	五、〇〇〇
		四十七、雑費	五、〇〇〇
		四十八、雑費	五、〇〇〇
		四十九、雑費	五、〇〇〇
		五十、雑費	五、〇〇〇
		五十一、雑費	五、〇〇〇
		五十二、雑費	五、〇〇〇
		五十三、雑費	五、〇〇〇
		五十四、雑費	五、〇〇〇
		五十五、雑費	五、〇〇〇
		五十六、雑費	五、〇〇〇
		五十七、雑費	五、〇〇〇
		五十八、雑費	五、〇〇〇
		五十九、雑費	五、〇〇〇
		六十、雑費	五、〇〇〇
		六十一、雑費	五、〇〇〇
		六十二、雑費	五、〇〇〇
		六十三、雑費	五、〇〇〇
		六十四、雑費	五、〇〇〇
		六十五、雑費	五、〇〇〇
		六十六、雑費	五、〇〇〇
		六十七、雑費	五、〇〇〇
		六十八、雑費	五、〇〇〇
		六十九、雑費	五、〇〇〇
		七十、雑費	五、〇〇〇
		七十一、雑費	五、〇〇〇
		七十二、雑費	五、〇〇〇
		七十三、雑費	五、〇〇〇
		七十四、雑費	五、〇〇〇
		七十五、雑費	五、〇〇〇
		七十六、雑費	五、〇〇〇
		七十七、雑費	五、〇〇〇
		七十八、雑費	五、〇〇〇
		七十九、雑費	五、〇〇〇
		八十、雑費	五、〇〇〇
		八十一、雑費	五、〇〇〇
		八十二、雑費	五、〇〇〇
		八十三、雑費	五、〇〇〇
		八十四、雑費	五、〇〇〇
		八十五、雑費	五、〇〇〇
		八十六、雑費	五、〇〇〇
		八十七、雑費	五、〇〇〇
		八十八、雑費	五、〇〇〇
		八十九、雑費	五、〇〇〇
		九十、雑費	五、〇〇〇
		九十一、雑費	五、〇〇〇
		九十二、雑費	五、〇〇〇
		九十三、雑費	五、〇〇〇
		九十四、雑費	五、〇〇〇
		九十五、雑費	五、〇〇〇
		九十六、雑費	五、〇〇〇
		九十七、雑費	五、〇〇〇
		九十八、雑費	五、〇〇〇
		九十九、雑費	五、〇〇〇
		一百、雑費	五、〇〇〇

# 公明選挙の反省

## 有力であつた標語ポスター

### 南魚の場合

昨年九月十一日、本郡にも公明選挙推進協議会が結成されたが、者に到底反対する事は出来なかつた。その結果がなかつた。他団体との関係となると、どうしても、公民館協議会の方を頼りねばならぬ。推進協議会の構成は選挙委員・婦人会・青年団・PTAであり、その会長は郡公連会長がなつた。

従つて、公明選挙ポスターの印刷費・公明選挙青年弁論大会入賞者の原稿入の機関紙の発行など、費用の援助はして来たし、公民館協議会としても、今年度は公明選挙運動費を計上してある。

先般郡公連における各町村よりの公明選挙の実施報告によると各町村で公明選挙の計画を立てない。うち、不公明選挙の腕手は、はりめぐされていたと言ふ。気の早いのは、昨年四月、町村の選挙人名簿を全部写しとつてしまつた輩等もあつたと言ふし、或る村で青年団の幹部一人会合したから、いつの間にか、政治研究会は特定候補の運動機関に化けていて、結局全買運反に連座することになつたと言ふ。

青年諸君の自転車隊が公明選挙を声をかからして噂したり、地方事務所をダツトサツンが走つても、

選挙運動の足音を聞きに過ぎない。われわれ市公連は七月時、たとえ抜き打ちの解散と、月中既に準備入り、八月館長及び、全市民的結合と施策に不十分な感じを思はせられた。先市選成運動方針を決定したが何分にも言の不活発と、青年団、婦人会の市の手算を持たねばならぬ有様で一致不活動である。婦人会は個あつたので開店休業の状態が続いて、その中に解散となり、少しあ

塩沢町では町長の大層板の擁護をわて気味、各館は甚に推進基盤『公明選挙をけがす奴は葬つてしまへ』を押し立てたの一方市からも三万五千円を獲得して、一部に、備運をみな非人扱いにするのか、といった者すらある。又青年諸君を公民館員が寄せ、公明選挙について懇談したことが、各種団体、特に婦人青年の組織をある。その時に「運動費をバラ撒くことは、勿論悪質な態度である。服せしめ、極めて高度の熱と実践がそれを陰で助長するものとして、要請したのである。が、なすこ各町村に尙見られる封建的条件、となつた事は、本運動に全市例えは、親分子分関係などの存在することを直視しなければならぬ。したがつて、この封建制を打破することも吾々の任務である」と結論が出た。郡協議会では「選挙法の改正」問題がとの上りられ法の改正に当つては、全国的著名運動も辞さないと言ふ気運である。

高女は一朝一夕に、公明選挙の実現を期するものではない。社会教育と公明選挙、それは非常に密接な関係があり、ためまざる努力と熱意を要するものである。

具体的にはポスター、チラシの撤出、宣伝カー、人形劇、紙芝居、討論会等を考へたのであるが、効果的であつたと思われたものに人形劇がある。指人形は誰にも作られるし、またその素材が親しまれ、知らず知らずのうちに公明選挙に引き込まれた。たうである。特に地方教養に、同愛の士から候補者が出た為一層白熱化した。一面特定候補の事前運動の感を抱かせた感も大いに反響しなければならぬ。将来本運動の限

界につき、充分検討のある事を認むねばならぬ。この点、其館長が立候補し、当選するまで確然と一線を描いて公明選挙運動を利用せず身を公明選挙を發行せられた事は、公明選挙運動のあり方に大きな指針を与えるものとして敬慕を表した。

選挙運動の足音を聞きに過ぎない。われわれ市公連は七月時、たとえ抜き打ちの解散と、月中既に準備入り、八月館長及び、全市民的結合と施策に不十分な感じを思はせられた。先市選成運動方針を決定したが何分にも言の不活発と、青年団、婦人会の市の手算を持たねばならぬ有様で一致不活動である。婦人会は個あつたので開店休業の状態が続いて、その中に解散となり、少しあ

選挙運動の足音を聞きに過ぎない。われわれ市公連は七月時、たとえ抜き打ちの解散と、月中既に準備入り、八月館長及び、全市民的結合と施策に不十分な感じを思はせられた。先市選成運動方針を決定したが何分にも言の不活発と、青年団、婦人会の市の手算を持たねばならぬ有様で一致不活動である。婦人会は個あつたので開店休業の状態が続いて、その中に解散となり、少しあ

選挙運動の足音を聞きに過ぎない。われわれ市公連は七月時、たとえ抜き打ちの解散と、月中既に準備入り、八月館長及び、全市民的結合と施策に不十分な感じを思はせられた。先市選成運動方針を決定したが何分にも言の不活発と、青年団、婦人会の市の手算を持たねばならぬ有様で一致不活動である。婦人会は個あつたので開店休業の状態が続いて、その中に解散となり、少しあ

選挙運動の足音を聞きに過ぎない。われわれ市公連は七月時、たとえ抜き打ちの解散と、月中既に準備入り、八月館長及び、全市民的結合と施策に不十分な感じを思はせられた。先市選成運動方針を決定したが何分にも言の不活発と、青年団、婦人会の市の手算を持たねばならぬ有様で一致不活動である。婦人会は個あつたので開店休業の状態が続いて、その中に解散となり、少しあ

選挙運動の足音を聞きに過ぎない。われわれ市公連は七月時、たとえ抜き打ちの解散と、月中既に準備入り、八月館長及び、全市民的結合と施策に不十分な感じを思はせられた。先市選成運動方針を決定したが何分にも言の不活発と、青年団、婦人会の市の手算を持たねばならぬ有様で一致不活動である。婦人会は個あつたので開店休業の状態が続いて、その中に解散となり、少しあ

## 足なみは早めに揃えよ

### 新潟市の場合

選挙運動の足音を聞きに過ぎない。われわれ市公連は七月時、たとえ抜き打ちの解散と、月中既に準備入り、八月館長及び、全市民的結合と施策に不十分な感じを思はせられた。先市選成運動方針を決定したが何分にも言の不活発と、青年団、婦人会の市の手算を持たねばならぬ有様で一致不活動である。婦人会は個あつたので開店休業の状態が続いて、その中に解散となり、少しあ

## 負担金割当表

郡市別	人口数割	公民館数割	合計負担額
北浦原郡	一一、二〇〇円	七、三〇〇円	一八、五〇〇円
中浦原郡	九、二〇〇	六、四〇〇	一五、五〇〇
西浦原郡	九、五〇〇	七、九〇〇	一七、四〇〇
南浦原郡	六、七〇〇	三、五〇〇	一〇、二〇〇
東浦原郡	二、〇〇〇	二、四〇〇	四、四〇〇
二島郡	五、二〇〇	四、六〇〇	九、八〇〇
古志郡	五、〇〇〇	五、七〇〇	一〇、七〇〇
北魚沼郡	四、九〇〇	三、一〇〇	八、〇〇〇
中魚沼郡	五、五〇〇	四、八〇〇	一〇、三〇〇
南魚沼郡	四、二〇〇	四、〇〇〇	八、二〇〇
川羽郡	五、二〇〇	五、一〇〇	一〇、三〇〇
東頸城郡	三、一〇〇	二、九〇〇	六、〇〇〇
中頸城郡	一、〇〇〇	一〇、六〇〇	一一、六〇〇
西頸城郡	四、三〇〇	四、四〇〇	八、七〇〇
岩船郡	五、三〇〇	五、一〇〇	一〇、四〇〇
佐渡郡	六、三〇〇	五、五〇〇	一一、八〇〇
新潟市	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇
長岡市	九、〇〇〇	九、〇〇〇	一八、〇〇〇
三条市	七、五〇〇	七、五〇〇	一五、〇〇〇
高田市	六、五〇〇	六、五〇〇	一三、〇〇〇
柏崎市	六、五〇〇	六、五〇〇	一三、〇〇〇
新発田市	六、五〇〇	六、五〇〇	一三、〇〇〇
新潟市	六、五〇〇	六、五〇〇	一三、〇〇〇
合計	二四四、三〇〇	二四四、三〇〇	四八八、六〇〇

六、会紙発行費  
 七、負担金(1)全公連負担金  
 三、予備費  
 一、予備費(2)予備費  
 特別予備費

四、五、五〇〇  
 二五、〇〇〇  
 八、四〇〇  
 一〇、九〇〇  
 七〇、五〇〇  
 三二九、九〇〇



# 注目の、青年学級振興法

## 全公連が国会へ陳情

讀否両論、社会教育の世界に大きな事業として青年学級を開設して来しむるが、その共通する趣旨月第一二次と一度にわたり、日本青年団協議会は、一昨年七月七日、八日の常任理事会で、青年学級法制化反対の決議をしたと報じ、反対声明書を掲げている一方、日本青年連盟の機関誌「青年」に「青年」一号はこの声明に対し「反対の趣旨はわからない」とないが、論旨は如何にも相違し、明確性を欠いているので、文部省の速旨とすれは隔つておることは、きりなきが、更に研究を続けたい」と述べている。

またその反対意見は、ある内容を予想しての意図であり、その理想に近き内容との違いは、紙上問答によつて、説明してみようと思ふ。

### ①青年学級は

原則として、市町村の設置する公民館又は学校が実施する。青年学級が法制化された場合、開設主体は市町村となり、而も原則として公民館が実施するものとなるので、公民館側の一部に見られた反対乃至時期尚早論も、その理由の一つとして掲げていた「公民館の講座で十分行い得るものを開設主体を分散させてはむしろ地方の混乱を招くおそれがある」という心配も上述の通り法案の内容修正によつて解消したわけである。

そしてこの法の即時実施に向つて積極的運動を展開することとなり、三月十日、全国公民館連絡協議会、全国代表者会議の名を以つて、次の陳情を行っている。

勸学百年の教育が現在最も重要であることは何人も異論のない所である。

## 社教主事講習規定改正

### 1月17日 文部省令第3号

この陳情は、速かに青年学級の普及に鑑み、速かに青年学級の普及を講ずるよう、要請いたします。日本青年団協議会は、一昨年七月七日、八日の常任理事会で、青年学級法制化反対の決議をしたと報じ、反対声明書を掲げている一方、日本青年連盟の機関誌「青年」に「青年」一号はこの声明に対し「反対の趣旨はわからない」とないが、論旨は如何にも相違し、明確性を欠いているので、文部省の速旨とすれは隔つておることは、きりなきが、更に研究を続けたい」と述べている。

またその反対意見は、ある内容を予想しての意図であり、その理想に近き内容との違いは、紙上問答によつて、説明してみようと思ふ。

青年学級は、このような性質のものではなく、あくまでも勸学青年の自主性を尊重し、又勸学青年の生活の実態及び地方の事情に即して開設され、かつ運営されるべきものである。従つて、復修を強要するわけではなく、又復修年限、学内学外についても、青年学級によつて過去の青年学級を復活するようなことは、毫も考えられてはいないのである。

(紙上問答は次号に続く)



②中蒲 小須戸公民館

他の館とするに充分なものと思はれる。

弘報活動  
公民館報「こと」がその主流をなして既に発行以来一回も休刊せず三年半第四十二号を数えている。

なお、必要に応じて館報専外発行、ポスター、チラシ、ダットサン等を利用して速報、広報しつゝ、郷土史の刊行物がある。

更に視聴覚教具を利用した幻燈映画等によつて画のつきが賞教育委員会が組織され、映画部、幻燈部、カマラ班、児童班がそれぞれに活動している。これに特筆すべきは全所青年団があつてこれに協力して映画または幻燈を毎夜各町内、部落を巡回映写し全所民に娯楽と教養をあたへ、明日の増進への大きな力としてゐる。

## 三大活動は

### 弘報 読書 視聴覚

目覚ましい青年團の協力  
これによつて、

各部、幻燈部、カマラ班、児童班がおかれ、映画部は映画に幻燈部は幻燈によつて、

それぞれの分野に活躍しているカマラ班はスライドの作製、写真速報、記録写真等の分野に、児童班は紙芝居、カゲ絵指人形、重話等を用いるために活躍している。



読書活動  
六人一班とした図書回覧組織



教育長講習終る

本会から慰問

新大教育幹部において兼ねてより執行されてきた教育長講習は去る十三日閉校終了。

これに先立ち、寒い部屋に暖かい、それにより、若くは講師の講義から開放され、愛しき妻の待つ我が家に向った。

豫期以上の 参會者

本会と県教委との共催にて企画された「公民館研究協議会」は、連日好天に恵まれ、予期以上の成果を挙げ、無事終了した。

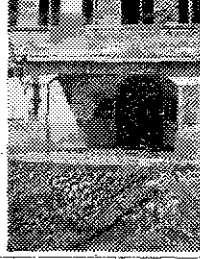
参加者は、上越会場二〇〇、中越二〇〇、下越二五〇、佐渡一五〇

東頸山村に獨立公民館

全村民の寄附金で竣工

東頸山村に獨立公民館の設けられたが、六三制の間に依り、学校建築のため延期していた。しかし、学校建築も一応設備(小学校、校舎新築)したので、ここに公民館の建築が実現した。専任主事の勤労もさることながら、人口僅か六千人の山村として決して悪くない四〇〇万円の建築費が捻出されたのである。

建設の概況は次の様である。図書室一七坪、講義室一六坪、事務室一七坪、留置室七坪、便所二坪、講堂四二坪、会議室二坪、脱衣室八坪、農産加工室七坪。



東頸山村公民館

南浦公民館運営研究会

去る六日、上村公民館、下各田村公民館、中魚沼郡公民館、公民館図書研究会を開いた。仙田村

コーダー一台、フチオの有線放送機、取寄六四〇とタイアップして実施する視聴覚教育に対する期待は大きい。

加害として産業の振興に寄与させる計画である。

室島、橋村、中条村、中条村、小の各町書会の状況発表後、県社会教育課指導主事の「読書奨励の奨励」についての話があり、研究討議を行った。特に読書奨励の具休策や図書室の蔵書構成等について活発な意見交換が行われた。

北浦原部では各町村の約八十軒が映写機、幻燈機を持ち十六ミリ映写機操作免許証の所有者は、二年末までは九人、だが、六年末までは九人、だが、一年後では三十三人となり、獨眼覚教育の振興状態は県下では佐渡、中越に次ぐ好成績である。これに對して教育界

北浦出張所では免許受験者が多いので今までの部単位を郷単位の試験制度とする等うれしい悲鳴をあげている。

北浦出張所では免許受験者が多いので今までの部単位を郷単位の試験制度とする等うれしい悲鳴をあげている。

中魚沼郡公連て

中魚沼郡協議会は六月十日、公民館で読書研究会を開いた。仙田村

同公民館では、分室の改修、読書奨励を行つて、公民館教育施設、きよくその歴史や人口動態など、参考資料を備える計画を進めている。

「自主性高めよう」四月十日から婦人週間

日本婦人が始めて国會議員を選挙した昭和二十一年四月十日より七日目の参事選で第五回の婦人週間が四月十日から十六日まで一週間に亘り開催される。

本年の目標は「婦人の自主性を高めること」スローガンとしては、一のはしまさう自分で考え行動するのをかかっている。保では

優良技術者二百三十四名

北浦の視聴覚教育

北浦原部では各町村の約八十軒が映写機、幻燈機を持ち十六ミリ映写機操作免許証の所有者は、二年末までは九人、だが、六年末までは九人、だが、一年後では三十三人となり、獨眼覚教育の振興状態は県下では佐渡、中越に次ぐ好成績である。これに對して教育界

北浦出張所では免許受験者が多いので今までの部単位を郷単位の試験制度とする等うれしい悲鳴をあげている。

北浦出張所では免許受験者が多いので今までの部単位を郷単位の試験制度とする等うれしい悲鳴をあげている。

北浦出張所では免許受験者が多いので今までの部単位を郷単位の試験制度とする等うれしい悲鳴をあげている。

北浦出張所では免許受験者が多いので今までの部単位を郷単位の試験制度とする等うれしい悲鳴をあげている。

新設田市中

圖書利用調査

新設田市公民館で先般、千七百年度の圖書の利用状況を調べてみたところ、合計使用数は四九四回、

新設田市公民館で先般、千七百年度の圖書の利用状況を調べてみたところ、合計使用数は四九四回、

新設田市公民館で先般、千七百年度の圖書の利用状況を調べてみたところ、合計使用数は四九四回、

新設田市公民館で先般、千七百年度の圖書の利用状況を調べてみたところ、合計使用数は四九四回、

新設田市公民館で先般、千七百年度の圖書の利用状況を調べてみたところ、合計使用数は四九四回、

自在

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

北浦町の話である。一昨年の暮、村の山ん

